

添付資料 12：評価シートに基づく訪問調査結果

評価シート(別紙 1)に基づく対象コミュニティの指標達成度

国	対象市	終了時評価のための事前調査		コミュニティのための評価シート項目(カッコ内は、成果レベルの指標に關係するもの)											合計 ポイント	6 ポイント 以上のコミ ュニティ		
		対象コミュニティ	訪問調査日	1 (1.1)	2 (1.2)	3 (1.2)	4 (1.4)	5 (1.4)	6	7 (1.3)	8 (2.4)	9 (1.3)	10 (2.4)	11 (2.2)				
Costa Rica	Guanacaste, Cañas	El Hotel	2011/11/05	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	0	
	Santa Isabel Arriba		2011/11/05	1	0	0	0.5	0	0.5	0	0.5	1	0	0.5		5		
	Santa Isabel Abajo		2011/11/05	0.5	0.5	0	0	0	1	1	0.5	1	0	0		4.5		
	Guanacaste, Santa Cruz	Tamariño	2011/11/06	1	1	0	0.5	0	1	0.5	0.5	0	0.5	0.5		5.5		
	Guanacaste, Nicoya	Barrio (santalucia) Centro	2011/11/07	1	0.5	0	1	1	1	1	0.5	0	0	0.5		6.5	0	
	Puntarenas, Cóbano	Montesuma	2011/11/09	1	0	0	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0.5	0	0		3.5		
		Santa Teresa	2011/11/09	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0	0.5		6	0	
		7 対象コミュニティ	7 訪問コミュニティ		6	3	1	2	2	5	3	2	3	1	1	---	3	
					1	2	1	4	2	2	4	4	1	1	4			
				0	2	5	1	3	0	0	1	3	5	2				
El Salvador	Libertad, San José Villa Nueva	Santa María I	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Cantón Matazano	2011/11/11	0	0	0	0	0	0.5	0.5	0	0.5	0	0		1.5		
		Dispensas Centro	2011/11/11	1	1	0.5	1	0.5	1	0.5	0	0.5	0	0.5		7	0	
		Libertad, Nueva Cuscatlán	Zamora Rivas	2011/11/14	1	0.5	0	0.5	0	1	1	1	0.5	0.5		7	0	
			Santa María	2011/11/14	1	0.5	0	0.5	0	1	1	1	0.5	0	0.5		6	0
			Altos de Nuevo Cuscatlán	2011/11/14	1	0	0	0	0	0	0.5	0.5	0	0	0		2	
			Libertad, Zaragoza	2011/12/06	1	1	0.5	0	0	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0.5		6	0
			Guadalupe	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Santa Teresa	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			La Paz, San Pedro Mazahuat	2011/12/07	1	1	0.5	1	0.5	1	1	0.5	1	1	1		9.5	0
			Milagro de Dios	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Miraflores	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			El Cabral	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		La Paz, San Luis Talpa	2011/12/08	1	1	0.5	0.5	1	1	1	1	0.5	1	1		9.5	0	
		La Fortuna	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		El Lagartero	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Amatecampo	2011/12/08	0	0	0	0	0	0.5	0.5	1	0	0.5	0		2.5		
		17 対象コミュニティ	9 訪問コミュニティ	7	4	0	2	1	5	4	5	1	2	3		6		
				0	2	4	3	2	3	5	3	5	4	3		---		
				2	3	5	4	6	1	0	1	3	3	3				
Guatemala	Escuintla, Escuintla	Ceylán	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Chuchú	2011/11/30	1	1	0	1	0	0.5	1	1	0	0	0		5.5		
		Don Pancho	2011/11/30	0.5	0.5	0.5	1	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0.5		5.5		
		Guadalupe El Zapote	2011/11/29	0.5	0	0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0	0		3		
		La Reina	2011/11/29	1	1	0.5	1	0.5	1	1	0.5	0.5	0	0.5		7.5	0	
		La Rochela	2011/11/29	0.5	0.5	0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0	0		3.5		
		San Miguel los Lotes	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		San Andres Osuna	2011/11/29	1	1	1	1	1	1	1	0.5	1	0.5	1		10	0	
		Santa María	2011/11/29	1	0.5	0	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0	0		4.5		

ポイント1のコミュニティ% ポイント0.5のコミュニティ% ポイント0のコミュニティ%	訪問しなかった 12 コミュニティ(19%)を含む全 62 対象コミュニティを分母にした場合		訪問した 50 コミュニティを分母にした場合		68%	56%	8%	45%	19%	52%	47%	40%	23%	18%	26%
	数	%	数	%											
	3/7	43%	3/7	43%	10%	15%	45%	26%	36%	26%	32%	33%	31%	31%	29%
	6/17	35%	6/9	67%	3%	10%	28%	10%	26%	3%	2%	8%	27%	32%	26%
	12/20	60%	12/17	71%	84%	70%	10%	56%	24%	64%	58%	50%	28%	22%	32%
	7/9	78%	7/8	88%	12%	18%	56%	32%	44%	32%	40%	40%	38%	38%	36%
	3/3	100%	3/3	100%	4%	12%	34%	12%	32%	4%	2%	10%	34%	40%	32%
計	34/62	55%	34/50	68%											

評価シート(別紙 1)に基づくプロジェクト目標のための指標1の達成度

国	6ポイント以上のコミュニティ数/対象コミュニティ		6ポイント以上のコミュニティ数/訪問コミュニティ	
	数	%	数	%
Costa Rica	3/7	43%	3/7	43%
El Salvador	6/17	35%	6/9	67%
Guatemala	12/20	60%	12/17	71%
Honduras	7/9	78%	7/8	88%
Nicaragua	3/3	100%	3/3	100%
Panama	3/6	50%	3/6	50%
計	34/62	55%	34/50	68%

評価シート(別紙 2)に基づく対象市の指標達成度

国	対象市(市役所)	訪問調査日	市のための評価シート項目(カッコ内は、成果レベルの指標に関するもの)										合計 ポイント	6ポイント以上の 市の		
			1	2	3 (3.2)	4	5 (2.3)	6	7 (3.2)	8	9	10				
Costa Rica	Guanacaste, CME Cañas	2011/11/05	1	1	1	1	0.5	1	1	1	1	1	1	0.5	9	0
	Guanacaste, CME Santa Cruz	2011/11/07	1	1	0.5	0.5	1	1	1	1	1	1	1	0.5	8.5	0
	Guanacaste, CME Nicoya	2011/11/07	1	1	1	1	0.5	0	0.5	1	0.5	1	1	0.5	7	0
	Puntarenas, CME Cóbano	2011/11/08	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	0
	4 対象市	4 訪問市														4市
El Salvador	Libertad, Alcaldia, San José Villa Nueva	2011/11/11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	0
	Libertad, Alcaldia, Nueva Cuscatlán	2011/11/14	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	0
	Libertad, Alcaldia, Zaragoza	2011/12/06	1	1	1	1	0.5	1	1	1	1	1	1	0.5	9	0
	La Paz, Alcaldia, San Pedro Mazahuat	2011/12/07	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	0
	La Paz, Alcaldia, San Luis Talpa	2011/12/08	1	1	1	1	0.5	0.5	1	1	1	1	1	0.5	8.5	0
5 対象市	5 訪問市														5市	
Guatemala	Escuintla, COMURED, Escuintla	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Escuintla, COMURED, Siquinalá	2011/12/02	1	1	1	1	1	0.5	1	1	1	1	1	0	8.5	0
	Chimaltenango, COMURED, San Pedro Yepocapa	2011/11/28	1	1	1	1	0.5	1	1	1	1	1	1	1	9.5	0
	Sacatepequez, COMURED, San Juan Alotenango	2011/11/30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5	0.5	0.5	8.5	0
	Escuintla, COMURED, Santa Lucia Cotzumalguapa	2011/11/29	1	1	1	1	0.5	0.5	1	1	1	1	1	1	9	0
5 対象市	5 訪問市														4市	
Honduras	Choluteca, CODEM El Triunfo	2011/11/1y 24	1	0.5	0	1	0.5	0.5	0.5	1	0.5	1	0.5	0.5	6	0
	Choluteca, CODEM Namasigue	2011/11/01	1	1	1	1	0.5	1	1	1	1	1	1	0.5	9	0
	Choluteca, CODEM Marcovia	2011/11/25	1	1	1	1	0	0.5	0.5	1	1	1	0	0	7	0
	Choluteca, CODEM Choluteca	訪問せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		Morazán, CODEM Tegucigalpa										2011/10/31									
		5 対象市					4 訪問市					1 1 1 1 1					1 1 1 1 1				
Nicaragua		1 対象市					2011/10/26					1 1 1 1 1					1 1 1 1 1				
Panamá		1 対象市					2011/11/17					0.5 0.5 0.5 0.5 0.5					0.5 0.5 0.5 0.5 0.5				
		Veraguas, Alcaldia Mariato					2011/11/18					1 0.5 0 0.5 0.5 0.5					0 0.5 0.5 0 0.5 0.5				
		Panamá, Alcaldia Capira					2011/11/16					1 0 0 0.5 0.5 0.5					0 1 0.5 0 0.5 0.5				
		3 対象市					3 訪問市														
		ポイント1の市数					21 訪問市					21 17 16 17 17					12 15 18 16 16				
		ポイント0.5の市数										0 3 2 4 4					7 5 3 5 10				
		ポイント0の市数										0 0 1 3 0					2 1 0 0 4				
合計		訪問しなかった2市(9%)を含む全23対象市を分母にした場合					91% 74% 13% 8% 4%					52% 30% 9% 4%					78% 13% 21% 70% 30%				
		ポイント1の市%					100% 81% 76% 81% 43%					57% 33% 33%					86% 76% 33%				
		ポイント0.5の市%					0 14% 10% 19% 52%					33% 24% 14%					24% 24% 48%				
		ポイント0の市%					0 5% 14% 14% 33%					10% 5% 0 5%					0 0 0 0 19%				
		19/23					19/21														
計		83%					83%														

評価シート(別紙2)に基づくプロジェクト目標のための指標2の達成度

国	6ポイント以上の市数/対象市					6ポイント以上の市数/訪問市				
	数	%	数	%	%					
Costa Rica	4/4	100%	4/4	100%	100%					
El Salvador	5/5	100%	5/5	100%	100%					
Guatemala	4/5	80%	4/4	100%	100%					
Honduras	4/5	80%	4/4	100%	100%					
Nicaragua	1/1	100%	1/1	100%	100%					
Panamá	1/3	33%	1/3	33%	33%					
計	19/23	83%	19/21	91%	91%					

評価シート(別紙3)に基づくプロジェクト目標のための指標3の達成度

国	国家防災機関	訪問調査日	国家防災機関のための評価シート項目										合計ポイント	4ポイント以上の機関	追加の評価項目		
			1	2	3	4	5	10	6	7	8	9					
CEPREDENAC	-	2011/12/12	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	1	1	1	4	0	0.5	0.5	0	
Costa Rica	CNE	2011/12/04	1	1	1	1	1	1	1	0.5	5.5	0	0.5	0.5	0.5	0.5	
El Salvador	Protection Civil	2011/10/18	0.5	0.5	0.5	1	0.5	0	3	0	3	0	1	0.5	0.5	0.5	
Guatemala	CONRED	2011/12/05	1	1	1	1	0.5	1	5.5	3	0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
Honduras	COPECO	2011/10/31	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	3	0.5	0.5	0.5	0.5	1	0.5	0.5	
Nicaragua	SINAPRED	2011/10/28 & 29	1	1	1	1	1	1	6	0	6	0	0.5	0.5	0.5	0.5	
Panamá	SINAPROC	2011/11/01	0.5	0.5	0.5	1	0.5	0.5	3.5	1	3.5	4 機関	1	1	1	0	
合計	6 対象機関	6 訪問機関											3.5	4 機関			

添付資料 13：プロジェクト成果表 2（活動レベルの進捗）

アウトプット	活動	中間評価時点での進捗 (2010年2～3月)	中間評価以降の進捗
<p>【成果1】 住民、住民組織及び自治体の協働により、対象コミュニティにおける防災体制が強化される。</p>	<p>1-1 対象コミュニティにおいて、防災組織を確立する。</p>	<p>調査した48コミュニティのうち47コミュニティ(98%)において、防災組織が設立された。 [コスタリカ] 6/6 [エルサルバドル] 4/5 [グアテマラ] 19/19 [ホンジュラス] 9/9 [ニカラグア] 3/3 [パナマ] 6/6</p>	<p>(エルサルバドル) ・プロジェクト前半では地方自治体の能力強化に重点的に活動が展開された。よって対象コミュニティについては、主に中間評価以降に決定された。 ・その後、プロジェクトの研修事業等によって育成された市の担当者、ボランティア、市レベルの防災普及員がコミュニティに入り、組織化を進めている。 ・DFPCにより、地方自治体レベルでリスク管理に関するセクター横断的な27インストラクターグループが形成された。</p> <p>(コスタリカ) ・エル・ホテル地区で古タイヤの試験堤防施工後、住民のイニシアチブによる延伸工事が2011年3～5月にかけて実施された。こうした住民による活動実績が認められて、Global Network of Civil Society Organizations for Disaster Reduction (NGOの国際ネットワーク)より、2011年7月に地区レベルケルースタステイ賞を受賞した。 ・ニコジャ市防災委員会の防災意識啓発活動を通じて、セントロ地区コミュニティの防犯組織を土台とした防災組織が設立された。 ・コパノ、ニコジャ、カリージョ、カニヤスのプロジェクト対象4市では、プロジェクト活動を通して、災害予防・災害準備に係る活動が進んだ。</p> <p>(ニカラグア) ・プロジェクトによる短期専門家訪問や教材の作成・提供により、対象3コミュニティのコミュニティ防災委員会のメンバーが、近隣住民へ津波メカニズムを説明するなど、組織としての活動が持続している。 ・サリナス・グラランダ地区では、住民主体による防災イベント「津波フェア」が2011年4月17日に開催され、海岸線にそった植林や、避難ルートの確認が行われた。さらに2012年4月1日に開催予定である。</p>
<p>1-2 対象コミュニティにおいて、コミュニティ主導で災害リスクアセスメントを実施する。</p>	<p>調査した48コミュニティのうち38コミュニティ(79%)において、コミュニティ主導による災害リスクアセスメントが実施された。 [コスタリカ] 4/6 [エルサルバドル] 2/5 [グアテマラ] 14/19 [ホンジュラス] 9/9 [ニカラグア] 3/3 [パナマ] 6/6</p>	<p>(エルサルバドル) ・対象小学校において、リスクアセスメントを再実施の上、リスクマップを更新した。</p> <p>(コスタリカ) ・サンタテレサ地区とモンテスマ地区では、市の防災委員会（県国研修員）が防災啓発活動を行ったことにより、住民が、津波発生時の避難経路標識を設置したり、避難場所の選定を行った。 ・モンテスマ地区の小学校では、標識を掲示して津波の際の避難路を示し、避難訓練を実施した。</p>	
<p>1-3 対象コミュニティにおいて、リスクマップを作成する。</p>	<p>調査した48コミュニティのうち31コミュニティ(65%)において、リスクマップが作成された。 [コスタリカ] 3/6 [エルサルバドル] 2/5 [グアテマラ] 11/19 [ホンジュラス] 7/9 [ニカラグア] 2/3 [パナマ] 6/6 また、未作成のコミュニティのうち14コミュニティにおいて作成中であり、これらが完成すると計45</p>	<p>(コスタリカ) ・モンテスマ地区、エル・ホテル地区、タマリンド地区で、リスクマップに基づき、避難路標識や警戒標識などの設置が進んだ。またサンタテレサ地区では、防災事務所を開設して、リスクマップを掲示し、さらにコピーを配布している。</p> <p>(ニカラグア) ・リスクマップの周知については、全コミュニティで、リスクマップに基づき、避難路標識や警戒標識などの設置が進んだ。</p> <p>(ホンジュラス)</p>	

		<p>コミュニティ (94%) となる。 ただし、リスクマップが作成された31コミュニティのうち、住民に対してマップが適切に周知されているコミュニティは3カ所 (約10%) に留まっている。 [コストリカ] 0 / 3 [エルサルバドル] 0 / 2 [グアテマラ] 0 / 11 [ホンジュラス] 3 周知済み (4 は準備中) / 7 [ニカラグア] 0 / 2 [パナマ] 0 / 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマップの周知については、チヨルテカ市、テグシガルハ市で、リスクマップに基づき、避難路標識や警戒標識などの設置が進んだ。
<p>1-4 対象コミュニティにおいて、適切な早期警戒システムを構築する。</p>	<p>調査した48コミュニティのうち38コミュニティ (79%) において、早期警戒システムの構築に取り組んでいる。しかしながら、コストリカのマラビジャ地区以外は、未だ構築中である。 [コストリカ] 1 構築済み (あと2 は構築中) / 6 [エルサルバドル] 3 / 5 [グアテマラ] 19 / 19 [ホンジュラス] 8 / 9 [ニカラグア] 0 / 3 [パナマ] 5 / 6</p> <p>他方、調査した48コミュニティのうち45コミュニティ (94%) において、災害に関する情報を無線等何らかの形で住民に知らせる手段を有している。従って、信頼しうる災害情報を得る手段さえあれば、ほとんどのコミュニティで早期警戒システムを構築することができるということを示唆している。 [コストリカ] 4 / 6 [エルサルバドル] 5 / 5 [グアテマラ] 18 / 19 [ホンジュラス] 9 / 9 [ニカラグア] 3 / 3 [パナマ] 6 / 6</p> <p>従って、信頼しうる災害情報を得る手段さえあれば、ほとんどのコミュニティで早期警戒システムを構築することができるということを示唆している。</p> <p>2009 年11 月のエルサルバドルにおけるハリケーン "Ida" による水害の際、被災地サンペドロ・マサット市に勤める職員 (課題別研修「中米防災対策」コースの帰国研修員) が、ヒボア川上流における増水の情報を受け、下流にあるコミュニティに伝達した。その中のひとつであるラス・オハス村で、本プロジェクトにより設置した警報用サイレンが稼働し、大規模な洪水が村を襲う前に住民が避難でき、結果として犠牲者を出さなかった。(詳細は付属資料8参照)</p>	<p>(グアテマラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無線機オペレーター研修を毎年開催している。また、火山監視カメラの設置を進めている。 <p>(エルサルバドル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒボア川流域圏において、上流部への無線機の設置、SNET (環境省環境観察局) との連携促進、コミュニティリーダー向けの早期警報ワークショプの実施など、観測・警報・災害時対応の体制強化を進めている。 ・ エポ・ウスカトラン市において、市の防災委員会メンバー及びコミュニティリーダーと共に、土砂災害に関する警報基準作りワークショプを2011 年8 月に実施した。 <p>(パナマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チリキビエホ川流域圏において、上流部に雨量観測計、対象コミュニティに水位計を設置し、観測結果を無線送信し、連絡体制の定期的な作動確認を行っている。また、電力会社の雨量観測データを入手し、データ整備を強化している。 <p>(コストリカ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトマネージャーのイニシアチブにより、ONE の自己予算を利用して、カニヤス川流域圏の SAT (簡易型早期警報システム) コミュニティで水位観測システム及び警報発信システムの強化が行われ、対象コミュニティでは警報対応能力の強化が行われた。 <p>(ニカラグア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ INETER (国土調査院) から遠隔操作で津波警報を対象コミュニティに発するシステムを構築中である。 <p>(ホンジュラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨量観測ワークショプを開催して、早期警報システムのもとになる降水量の測定ネットワークを強化している。また全コミュニティにおいて、警報サイレンを設置した。 	
<p>1-5 上記対象コミュニティの活動を踏まえ、コミュニティの防災計画を策定</p>		<p>調査した48コミュニティのうち26コミュニティ (54%) において、コミュニティの防災計画を策定</p>	<p>(エルサルバドル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各対象コミュニティ内の少なくとも1 小学校が、災害対応のための学校防災計画を作成

<p>ティの防災計画を策定する。上記活動のプロモーターとして帰国研修員、市および国レベルでの防災担当職員を取り込む。</p>	<p>済みである。 [コスタリカ] 3/6 [エルサルバドル] 1/5 [グアテマラ] 11/19 [ホンジュラス] 4/9 [ニカラグア] 1/3 [パナマ] 1/6 また、未策定のコミュニティのうち16コミュニティにおいても現在策定に取り組んでおり、これらが完了すると42コミュニティ (88%) がコミュニティの防災計画を持つことになる。</p> <p>ただし、活動1-3に述べたリスクマップのケースと同様、住民に対して十分に周知されているものは少なく、26コミュニティのうち4 (箇所 (約15%)) に留まっており、リスクマップや防災計画を住民に周知する取組みが今後の課題である。</p> <p>[コスタリカ] 1 / 3 [エルサルバドル] 0 / 1 [グアテマラ] 0 / 11 [ホンジュラス] 2 / 4 [ニカラグア] 1 / 1 [パナマ] 0 / 1</p>	<p>した。 ・ 地方自治体において、災害対応のための市民防災計画が作成された。</p> <p>(グアテマラ) ・ CONRED が配置したプロジェクトのコミュニティ担当者 (技術者) が住民と共にコミュニティごとの災害対応計画を策定し、2011 年 12 月に同計画の印刷物が各コミュニティに配布された。</p> <p>(パナマ) ・ パナマでは、中間評価時では作成中のコミュニティが多かった。その後 JICA が雇用している現地ファシリテーターとコミュニティリーダーの調整のもと、防災計画を策定したコミュニティが増加した。</p> <p>(コスタリカ) ・ ホテル地区では、コミュニティ避難訓練を含む防災計画を策定し、更新している。 ・ ニコジャヤ中心地区では、プロジェクト活動による啓発活動をうけ、住民主導で、防災委員会により防災計画が策定された。 ・ サンタテレサ地区では、地震・津波に関する防災計画策定も行われている。</p> <p>(ニカラグア) ・ コミュニティの防災計画が毎年レビュー・更新されている。</p>	<p>した。 ・ 地方自治体において、災害対応のための市民防災計画が作成された。</p> <p>(グアテマラ) ・ CONRED が配置したプロジェクトのコミュニティ担当者 (技術者) が住民と共にコミュニティごとの災害対応計画を策定し、2011 年 12 月に同計画の印刷物が各コミュニティに配布された。</p> <p>(パナマ) ・ パナマでは、中間評価時では作成中のコミュニティが多かった。その後 JICA が雇用している現地ファシリテーターとコミュニティリーダーの調整のもと、防災計画を策定したコミュニティが増加した。</p> <p>(コスタリカ) ・ ホテル地区では、コミュニティ避難訓練を含む防災計画を策定し、更新している。 ・ ニコジャヤ中心地区では、プロジェクト活動による啓発活動をうけ、住民主導で、防災委員会により防災計画が策定された。 ・ サンタテレサ地区では、地震・津波に関する防災計画策定も行われている。</p> <p>(ニカラグア) ・ コミュニティの防災計画が毎年レビュー・更新されている。</p>
<p>1-6 上記活動を JICA 研修事業の帰国研修員、地方自治体、国レベルの防災担当者と協力して実施し、日本での経験から得た知識、情報、手法の普及を図る。</p>	<p>本調査においてはこの活動項目に関して統計的な記録は得られなかったが、専門家、カウンターパート他の関係者に対するインタビューの結果、JICA 帰国研修員は概してコミュニティレベルのプロジェクト活動に積極的に関与している。</p>	<p>・ 上述したように、各国、各自治体、各コミュニティにおける活動において、帰国研修員の働きと貢献は顕著である。</p> <p>・ 帰国研修員間のネットワーク強化を直接の目的とする活動はないものの、様々な活動を通じて、帰国研修員間での連携が図られている。</p>	<p>・ 上述したように、各国、各自治体、各コミュニティにおける活動において、帰国研修員の働きと貢献は顕著である。</p> <p>・ 帰国研修員間のネットワーク強化を直接の目的とする活動はないものの、様々な活動を通じて、帰国研修員間での連携が図られている。</p>
<p>1-7 活動プロセスを記録、文書化する。</p>	<p>活動プロセスは、現在のところ十分に記録・文書化されているとはいえない。今後、プロジェクト活動の記録・文書化の改善が必要である。</p>	<p>(エルサルバドル) ・ JICA コーディネーターによる活動記録が作成されている。</p> <p>(パナマ) ・ JICA コーディネーターが活動記録を作成した。</p> <p>(コスタリカ) ・ プロジェクトマネージャーによるプロジェクト活動プロセスの記録を作成した。 ・ 2011 年 11 月 4 日の日本大使館主催の経協セミナーにおいて、JICA コスタリカ支所がコスタリカにおける防災協力を取りまとめ、発表した。 ・ 現在、優良事例記録を取りまとめ中である。</p> <p>(ニカラグア) ・ SINAPRED が防災プロジェクトの成果をまとめたビデオを作成中である。</p> <p>(ホンジュラス) ・ JICA コーディネーターを中心に活動記録書を作成中、及び JICA ホンジュラス事務所に</p>	<p>(エルサルバドル) ・ JICA コーディネーターによる活動記録が作成されている。</p> <p>(パナマ) ・ JICA コーディネーターが活動記録を作成した。</p> <p>(コスタリカ) ・ プロジェクトマネージャーによるプロジェクト活動プロセスの記録を作成した。 ・ 2011 年 11 月 4 日の日本大使館主催の経協セミナーにおいて、JICA コスタリカ支所がコスタリカにおける防災協力を取りまとめ、発表した。 ・ 現在、優良事例記録を取りまとめ中である。</p> <p>(ニカラグア) ・ SINAPRED が防災プロジェクトの成果をまとめたビデオを作成中である。</p> <p>(ホンジュラス) ・ JICA コーディネーターを中心に活動記録書を作成中、及び JICA ホンジュラス事務所に</p>

<p>【成果2】 対象コミュニティにおける防災知識が向上する。</p>	<p>2-1 対象コミュニティ向けの防災普及のための手法、ツール、技術を用意する。</p>	<p>中間レビュー時点までに、対象コミュニティでの教育・意識向上のために使用できる教材が7種作成された。</p>	<p>よる優良活動事例集を取りまとめ中である。</p> <p>(コスタリカ) (ニカラグア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災機関の機関紙に活動紹介・報告が掲載された。 <p>(グアテマラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カエルキヤラバン・マニユアル (Annex15 No. 1-7 及び 1-8) が作成された。現在、マニユアルの中米版を作成中。(活動 5-5) ・CONRED の帰国研修員の企画・立案により、シウダ・ピエハ市に 2011 年 10 月に火山博物館が開設された。 <p>(エルサルバドル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災ダック (防災教育カードゲーム) のエルサルバドル版 (Annex15 No. 1-1) を、JOCV の協力のもと作成した。 ・2011 年 6 月には、カエルキヤラバン用品と「防災ダック」カードセットのエルサルバドル国家防災機関に対する贈与式が行われた。 ・「防災ダック」については、現在グアテマラが中米版を作成中 (活動 5-5) <p>(パナマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ放送による地震洪水防災啓発のスポット広告を作成中である。 ・避難訓練実施マニユアル (Annex15 No. 1-9) を作成した。 <p>(コスタリカ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古タイヤを利用した住民参加の堤防・土留め工事についての堀米マニユアル (Annex15 No. 2-6) を 500 部以上印刷し、プロジェクト関係者以外の公的機関、NGO、自治体などに配布している。 ・古タイヤを利用した工事例は、2011 年 3 月の「中米 BOSAI 自治体フォーラム」でも、コスタリカ、ホンジュラス代表から改めて紹介されている。 ・コパノ市防災委員により、学校防災のマニユアルが作成中 (Annex15 No. 1-10) である。 ・ニコジャ市においては、地震防災を中心とした防災意識啓発ツール (Annex15 No. 1-11) が開発された。さらに、その手法の普及のためのマニユアル (Annex15 No. 1-12) が作成され、改訂中である。 ・OVSICORI、UNA、JICA、ONE の準備により、地震に関する年次ワークショップが 3 回行われ、地震に関する学習と、DIG 手法に基づく訓練が行われた。帰国研修員が学んできたことが、これらのワークショップに取り込まれている。 <p>(ニカラグア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波メカニズム教材 (紙芝居およびパワーポイント資料) (Annex15 No. 1-6) を作成した。さらに津波メカニズムの DVD も作成予定。 <p>(グアテマラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CEPREDEMAC のインシアチブによるグアテマラ SAT 手法の研修会が、グアテマラ CONRED 職員を講師として、2010 年 11 月、パナマ SIMAPROC の中米防災アカデミーに各防災機関の代表を招いて行われた。(活動 4-2) ・CONRED がその後更新した SAT のガイドブック (ガイドブック作成は外部支援によるもの) が参加者に配布されている。 ・プロジェクト期間中、主にグアテマラ及びエルサルバドルを中心に、カエルキヤラバンが実施された。 ・2011 年 5 月 18～19 日に、CONRED 本部敷地内で、中米の防災機関関係者を集めてカエルキヤラバン実演中米地域ワークショップが開催された。(活動 5-5)
	<p>2-2 対象コミュニティにおいて、防災普及のための手法、ツール、技術を活用し、参加型ワークショップを開催する。</p>	<p>本プロジェクトで作成された手法、ツール、技術は、ワークショップを含むコミュニティレベルの活動に適切に活用されている。</p>	

		<p>2-3 対象コミュニティにおいて、防災普及のための手法、ツール、技術を活用し、学校教師や児童の防災知識の増進を図る。</p>	<p>(エルサルバドル) <ul style="list-style-type: none"> 掘米短期専門家により、古タイヤを利用した堤防工事工法について、エルサルバドル公共事業省とともに2011年5月に公開セミナーを開催した。 DGPC、JICA、サンサルバドル市の共同で、サンサルバドルの「市防災担当官」に対して古タイヤ堤防の建設に関する研修を実施した。 長期専門家により、対象地方自治体に対してDIG手法が紹介された。 </p> <p>(コスタリカ) <ul style="list-style-type: none"> サンタテレサ地区およびタマリンド地区では、2011年9月にDIG、まち歩き的手法による津波防災ワークショップが開催され、津波来襲時の一時避難場所の選定などが行われた。 </p> <p>(ホンジュラス) <ul style="list-style-type: none"> マタハロ・アリバ地区において、耐震避難所建設にかかる住民参加ワークショップの一環として、他ドナー、NGOを招いた耐震アドベ（日干し煉瓦）工法に係るワークショップを2011年3月末に開催し、耐震プロジェクト及び防災プロジェクトの技術紹介と成果普及を図った。（活動4-2） 同ワークショップはエルサルバドルLa Prensa紙（2011年4月3日付）で2ページにわたり大きく報道された。 2011年12月21日には、耐震多目的シエルトターの開所式および引き渡しが行われた。 </p> <p>(グアテマラ) (エルサルバドル) <ul style="list-style-type: none"> 学校や自治体祭りの場においてカエルキヤラバンに取り込むことによる同キヤラバンの全国は教育省と連携し、学校のカリキュラムの中に盛り込むことによる同キヤラバンの全国的な展開が検討されている。また、カエルキヤラバンの最初のマニュアルが作成された。2011年を通して、対象コミュニティにおける防災委員会と学校計画の形成についてのガイダンスが行われた。 エルサルバドルでは、対象コミュニティにおける学校防災計画が更新された。 </p>
	<p>2-4 対象コミュニティにおいて、避難訓練を行う。</p>	<p>本調査ではこの活動項目の実施状況を示すデータは確認できなかった。ただし、グアテマラの火山周辺コミュニティにおいて、対象コミュニティ内にある学校を対象にぬり絵や火山の模型を用いた防災教育活動が行われていることが現地調査で確認された。</p>	<p>(コスタリカ) <ul style="list-style-type: none"> コパノ市では、2010年10月及び2011年10月に、年間を通じて行っている「学校防災(Escuela BOSAI)」の一環として、防災祭りのイベントが開催された。 2010年の開催後、プロジェクトの資材提供支援により、児童生徒により指摘された学校内の危険箇所の改善が、教員・生徒・その親により実施された。 また、2011年の開催にはコパノ市内の9校が参加した。教育省地域事務所側からマニュアル及び活動記録の紹介をしてほしい旨、コパノ市防災委員会側に話があった。 </p> <p>(グアテマラ) <ul style="list-style-type: none"> CONREDの指揮のもと、カツマルグアバ市とサン・ペドロ・ジェコパカ市が連携し、2011年3月に、サンタソフィア地区とジュカレス地区を中心として1830人が参加した大規模避難訓練が行われた。グアテマラ副大統領を含む政府要人、日本大使も参加した。 </p> <p>(エルサルバドル) <ul style="list-style-type: none"> サンペドロ・マサワット市防災課・帰国研修員が主導して、2011年9月に約1,000人(24コミュニティ)が参加した大規模避難訓練が行われた。 </p> <p>(コスタリカ) <ul style="list-style-type: none"> ホテル地区で、2011年11月に地震を想定した避難訓練が開催された。 </p>
		<p>当調査時点までに避難訓練を行ったことのある対象コミュニティは、48コミュニティのうち3コミュニティ（約6%）に留まっている。</p> <p>[コスタリカ] 1/6 [エルサルバドル] 1/5 [グアテマラ] 1/19 [ホンジュラス] 0/9 [ニカラグア] 0/3 [パナマ] 0/6</p>	

	<p>2-5 プロジェクト活動の進捗を半年ごとにモニタリングし、その結果を合同調整委員会で報告する。</p>	<p>プロジェクト活動の半年ごとの定期モニタリングレポートは、各国の国家防災機関に提出を求めており、第2回の合同調整委員会では定期モニタリングレポートの様式がコスタリカから提案され合意されているが、各国からのモニタリングレポートは提出されていない。活動1-7にある活動プロセスの記録・文書化にも同様のことが当てはまるが、中米では活動プロセスなどを記録・文書化することに習熟していない者が多く、活動を記録してモニタリングレポートにまとめ、提出してもらうことを周知徹底することは非常に困難を伴う。合同調整委員会の会議は年1回開催されており、プロジェクトの進捗状況が報告されている。</p>	<p>(ニカラグア) ・2011年には、コミュニティレベルで7 避難訓練が、4 小学校において4 避難訓練が実施された。 ・合同調整委員会が、2010年3月4～5日(エルサルバドル)、2011年3月9～10日(メキシコ)に開催された。</p>
<p>【成果3】 防災の目標、施策、具体的活動などが対象自治体の計画に含まれるようになる。</p>	<p>3-1 対象自治体の計画に防災を組み込むために活動、プロセスの調整を行う。</p>	<p>この活動の実施状況を確認するための具体的情報は入手できなかった。</p>	<p>・自治体の防災担当者を集めた中米地域内のワークショップ「中米防災自治体フォーラム」(2010年2月コスタリカ、2011年3月ニカラグア)の開催、自治体の防災担当者を本邦研修に送ること等により、自治体の能力強化と体制整備を図った。 (グアテマラ) ・サンタルシア市役所では、地域別研修「中南米地域 火山防災能力強化」コースからの帰国研修員が、市の開発計画の中に防災計画を織り込んだ。 (エルサルバドル) ・ヌエボ・クスカトラン市は市の防災計画を策定したところであり、高リスク地の住民移転事業を計画中である。(活動3-4) ・グローバルな災害危機管理の方向性に沿って、現在、地方自治体とその他組織を含むよう市民防災国家計画が見直しの途中である。 (パナマ) ・パルー市では、帰国研修員(現在は副市長)により防災事務所が2011年3月に新たに設置された。(活動3-4) (コスタリカ) ・カニヤス市では、帰国研修員の継続的な取り組みにより、防災分野の恒常的な予算として、2011年3,400ドル、2012年2,000ドルが計上された。 (ホンジュラス) ・テグシガルパ市では、一連のJICAの防災支援により、市の開発計画に防災が重点分野として盛り込まれている。その中で、帰国研修員がコミュニティ防災の取り組みを強化している。</p>
<p>3-2 対象自治体の防災担当者が本邦研修「中米防災対策」に参加する。</p>	<p>「中米防災対策」コースには、これまでに対象自治体の防災担当者が9名参加した。</p>	<p>・プロジェクト期間中に、「中米防災対策」コースには、対象自治体の防災担当者が22名参加した。</p>	

		「中米防災対策」コース参加人数、うち自治体からの参加人数（カッコ内）																																																											
		2007	2008	2009	2010	2011	計																																																						
		Guatemala	3(2)	2(0)	3(0)	2(0)	2(1)	12(3)																																																					
		El Salvador	2(1)	2(0)	3(1)	2(1)	2(1)	11(4)																																																					
		Panama	2(0)	2(0)	3(2)	2(1)	0	9(3)																																																					
		Costa Rica	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	10(5)																																																					
		Nicaragua	0	2(1)	2(1)	2(0)	0	6(2)																																																					
		Honduras	2(1)	2(1)	0	2(1)	2(2)	8(5)																																																					
		計	11(5)	12(3)	13(5)	12(4)	8(5)	56(22)																																																					
		SE-CEPREDENAC	0	0	1	1	1	3																																																					
		(単位：人)																																																											
3-3	対象自治体の防災担当者を対象として、自治体の防災計画を策定するためのワークショップを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトとして優れた研修参加者の人選を促した。また、本邦研修の事前研修を行った。その際、帰国研修員と新規参加研修員との交流を図った。 (コスタリカ・ニカラグア) 自治体の防災担当者を集めた中米地域内のワークショップ「中米 BOSAI 自治体フォーラム」を、2010年2月コスタリカにて、2011年3月ニカラグアにて開催した。(活動4-2、5-2) (コスタリカ) 自治体研修機関と協同し、対象コミュニティ地域も含めた全国レベルのワークショップを2011年8月に開催した。 プロジェクトマネージャーの調整により対象コミュニティ周辺の自治体防災担当者を対象とした防災計画策定を主眼とする土地利用計画に関するワークショップを2011年11月に実施した。 パナマを除く全ての対象自治体において、災害対応計画が策定されている。加えて、災害予防・準備への取り組みが強化されてきている。(例えば、エルサルバドルのヌエボ・クスカトラン市では、災害リスクの高い集落の移転を計画) (パナマ) 「国家緊急時計画」において自治体の防災能力強化がうたわれており、対象市であるパルー市でも防災課が設置された(活動3-1)。さらに災害対応計画についても策定の予定である。 他方、パナマでは、SINAPROCの全国9県の事務所において、対象自治体を含めた県レベルでの「緊急時計画」を策定している。 																																																											
3-4	対象自治体は、国家防災機関と協力し、自治体の防災計画を策定する。	<p>これまでのところこの活動は実施されていない。</p> <p>調査した18市のうち16市(89%)において、自治体の災害対策計画が存在する。 [コスタリカ] 2/3 [エルサルバドル] 5/5 [グアテマラ] 4/4 [ホンジュラス] 4/4 [ニカラグア] 1/1 [パナマ] 0 存在*/1</p> <p>※パナマの場合、SINAPROCは国家防災システムに基づき、SINAPROCの地方事務所を通して直接コミュニティでの活動を行っている。従って、自治体による防災計画の策定を期待することは困難である。</p>																																																											
4-1	各国防災関連機関及びCEPREDENAC調整事務局のスタッフが、本邦研修「中米防災対策」及びメキシコでの第三国研修「市民安全と防災」に参加する。	<p>【成果4】 中米各国における国の防災関連機関およびCEPREDENAC調整事務局において、コミュニティ防災を推進する能力が強化される。</p> <p>プロジェクト期間中に、国家防災機関及びCEPREDENAC調整事務局から、本邦研修「中米防災対策」コースに34名、第三国研修「市民安全と防災」コースに25名が参加した。</p> <p>「中米防災対策」コース参加人数、うち各国防災機関からの参加人数（カッコ内）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2007</th> <th>2008</th> <th>2009</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td>Guatemala</td> <td>3(1)</td> <td>2(2)</td> <td>3(3)</td> <td>2(2)</td> <td>2(1)</td> <td>12(9)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>El Salvador</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> <td>3(2)</td> <td>2(1)</td> <td>2(0)</td> <td>11(5)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>Panama</td> <td>2(2)</td> <td>2(2)</td> <td>3(1)</td> <td>2(1)</td> <td>0</td> <td>9(6)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>Costa Rica</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> <td>10(5)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>Nicaragua</td> <td>0</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> <td>0</td> <td>6(3)</td> </tr> </tbody> </table>									2007	2008	2009	2010	2011	計			Guatemala	3(1)	2(2)	3(3)	2(2)	2(1)	12(9)			El Salvador	2(1)	2(1)	3(2)	2(1)	2(0)	11(5)			Panama	2(2)	2(2)	3(1)	2(1)	0	9(6)			Costa Rica	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	10(5)			Nicaragua	0	2(1)	2(1)	2(1)	0	6(3)
		2007	2008	2009	2010	2011	計																																																						
		Guatemala	3(1)	2(2)	3(3)	2(2)	2(1)	12(9)																																																					
		El Salvador	2(1)	2(1)	3(2)	2(1)	2(0)	11(5)																																																					
		Panama	2(2)	2(2)	3(1)	2(1)	0	9(6)																																																					
		Costa Rica	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	10(5)																																																					
		Nicaragua	0	2(1)	2(1)	2(1)	0	6(3)																																																					

			<p>Honduras 2(1) 2(1) 0 2(1) 2(0) 8(3)</p> <p>計 11(6) 12(8) 13(8) 12(7) 8(2) 56(31)</p> <p>SE-CEPRENAC 0 0 1 1 1 3</p> <p>(注：ニカラグアについては、防災機関として SINAPRED の INETER の両方を含む)</p> <p>メキシコ第三国研修への参加人数、うち各国防災機関からの参加人数（カッコ内）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2007</th> <th>2008</th> <th>2009</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Guatemala</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> <td>4(4)</td> </tr> <tr> <td>El Salvador</td> <td>1(1)</td> <td>2(2)</td> <td>2(2)</td> <td>2(1)</td> <td>0</td> <td>7(6)</td> </tr> <tr> <td>Panama</td> <td>2(2)</td> <td>2(2)</td> <td>2(2)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6(6)</td> </tr> <tr> <td>Costa Rica</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3(3)</td> </tr> <tr> <td>Nicaragua</td> <td>2(2)</td> <td>1(1)</td> <td>1(0)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4(3)</td> </tr> <tr> <td>Honduras</td> <td>2(1)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> <td>1(0)</td> <td>5(3)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9(8)</td> <td>8(8)</td> <td>8(7)</td> <td>3(2)</td> <td>1(0)</td> <td>29(25)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注：ニカラグアについては、防災機関として SINAPRED の INETER の両方を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帰国研修員に対するフォローアップを積極的に行った。一例として、グアテマラの帰国研修員の火山博物館開設にあたり、インフラ・資機材を支援した。 ・ (グアテマラ) <ul style="list-style-type: none"> ・ CONRED は SAT のガイドブックを作成し、域内で研修会を行い、同ガイドブックを配布した。ガイドブック作成は外部支援によるもので、BOSAI ではそれを利用して域内知見共有を実施した。(活動 2-2) ・ (コスタリカ) <ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル地区における古タイヤを利用した住民参加型の堤防・土留め工事についてのマニュアルを掘米専門家が作成した。(活動 2-1) ・ コスタリカ CNE は、独自予算により、プロジェクト対象コミュニティの優良事例を定期刊行誌で紹介した。(活動 1-7) ・ (ニカラグア) <ul style="list-style-type: none"> ・ CEPREDENAC と、ニカラグア SINAPRED およびレオン市の共催により、2011 年 3 月にベニータス地区において「中米 BOSAI 自治体フォーラム」を実施し、自治体・コミュニティ間での経験共有とネットワーク形成が進んだ。(活動 3-3、5-2) ・ (ホンジュラス) <ul style="list-style-type: none"> ・ マタハロ・アリババ地区において、2011 年 3 月末、耐震避難所建設にかかる住民参加ワークショップの一環として、他ドナー、NGO を招いた耐震アドベ（日干し煉瓦）工法にかかるワークショップを開催し、耐震プロジェクトおよび防災プロジェクトの技術紹介と成果普及を図った。(活動 2-2、ただし国家地域レベルとは関係ない。) ・ (エルサルバドル) <ul style="list-style-type: none"> ・ グアテマラ CONRED カエルキヤラン担当チームとエルサルバドル BOSAI 活動関係者との経験交流会を、2010 年 12 月にサンサルバドルで実施した。 ・ (パナマ) <ul style="list-style-type: none"> ・ グアテマラの SAT 優良手法について、パナマ SINAPROC 中米防災アカデミーにおいて 2010 年 11 月に 4 日間の研修会を実施した。(活動 2-2) 		2007	2008	2009	2010	2011	計	Guatemala	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0	4(4)	El Salvador	1(1)	2(2)	2(2)	2(1)	0	7(6)	Panama	2(2)	2(2)	2(2)	0	0	6(6)	Costa Rica	1(1)	1(1)	1(1)	0	0	3(3)	Nicaragua	2(2)	1(1)	1(0)	0	0	4(3)	Honduras	2(1)	1(1)	1(1)	0	1(0)	5(3)	計	9(8)	8(8)	8(7)	3(2)	1(0)	29(25)
	2007	2008	2009	2010	2011	計																																																					
Guatemala	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0	4(4)																																																					
El Salvador	1(1)	2(2)	2(2)	2(1)	0	7(6)																																																					
Panama	2(2)	2(2)	2(2)	0	0	6(6)																																																					
Costa Rica	1(1)	1(1)	1(1)	0	0	3(3)																																																					
Nicaragua	2(2)	1(1)	1(0)	0	0	4(3)																																																					
Honduras	2(1)	1(1)	1(1)	0	1(0)	5(3)																																																					
計	9(8)	8(8)	8(7)	3(2)	1(0)	29(25)																																																					
<p>4-2 コミュニティ防災の推進に役立つ手法、ツール、技術を体系化、現地適応化する。</p>	<p>中間レビュー時点までに 4 種類のコミュニティ防災の推進に役立つ手法、ツール、技術が開発・作成された。更に 2 種類が準備中である。詳細は付属資料 5-1 の合同レビューレポート(英文)の ANNEX 8 を参照。</p>																																																										
<p>4-3 開発した手法、ツール、技術の活用方法に関するワークショップを、各国防災機関を対象に開催する。</p>	<p>これまでに、以下のワークショップが開催済みである。</p> <p>(ア) DIG (Disaster Imagination Game) : 2008年3月、2009年3月、2009年8月</p> <p>(イ) タウンウォッチング : 2009年3月</p> <p>(ウ) 早期警戒システム : 2009年8月</p>																																																										

	<p>(コスタリカ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2011年12月に、カニヤス市で自治体職員及びコミュニティリーダーを対象にDIG手法(住民参加型災害図上訓練)を使用した研修会を実施した。 (ホンジュラス) ・ 2012年1月にチヨルテカ市でCOPECO職員とコミュニティリーダーを対象にSAT研修会を実施した。その際「Snake and Critical Line」マニュアル(Annex15 No.2-9)を使用した。 ・ COPECO職員とテグシガルパ市職員を対象に、2011年9月にDIG手法研修会を実施した。 ・ 防災プロジェクトとしてのポータルサイトを、2012年3月中の公開を目標に構築中である。 	<p>(コスタリカ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2011年12月に、カニヤス市で自治体職員及びコミュニティリーダーを対象にDIG手法(住民参加型災害図上訓練)を使用した研修会を実施した。 (ホンジュラス) ・ 2012年1月にチヨルテカ市でCOPECO職員とコミュニティリーダーを対象にSAT研修会を実施した。その際「Snake and Critical Line」マニュアル(Annex15 No.2-9)を使用した。 ・ COPECO職員とテグシガルパ市職員を対象に、2011年9月にDIG手法研修会を実施した。 ・ 防災プロジェクトとしてのポータルサイトを、2012年3月中の公開を目標に構築中である。 	<p>【成果5】 コミュニティ防災に係る情報、経験、手法を普及する体制が構築される。</p>
<p>4-4</p>	<p>開発した手法、ツール、技術を中米地域で保管・共有する場所を確保する。</p>	<p>CEPREDEMAC調整事務局において、災害リスクマナジメント情報センターのシステムを、台湾の支援により構築中である。また、SINAPROCでは地域内への防災情報提供のために同様の情報センターを設立中である。</p>	<p>4-4 開発した手法、ツール、技術を中米地域で保管・共有する場所を確保する。</p>
<p>5-1</p>	<p>JICA研修事業に参加した帰国研修員の同窓ネットワークを強化するため、帰国研修員のデータベースを構築し、経験の交換を目的としたセミナーを開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各国のJICA事務所では、防災分野に限定したものは無いが、帰国研修員データベースを作成している。 ・ 対象国ごとの帰国研修員会合は、パナマで1回開かれたものを除いて開かれていない。 ・ 中米地域レベルの帰国研修員会合は、2010年3月に第1回が開催された。 ・ 本邦研修「中米防災対策」のために毎年実施される事前研修の機会に帰国研修員が集合している。 ・ 事前研修を開催した国と時期は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> - パナマ 2007年10月 - メキシコ 2008年10月 - メキシコ 2009年10月 	<p>5-1 JICA研修事業に参加した帰国研修員の同窓ネットワークを強化するため、帰国研修員のデータベースを構築し、経験の交換を目的としたセミナーを開催する。</p>
<p>5-2</p>	<p>CEPREDEMAC調整事務局及び各国防災関連機関が主導して、自治体レベルの防災担当者を含む実務者間のコミュニティ防災に関する知識や教訓の交換・共有のために中米地域防災会議を開催する。</p>	<p>自治体職員やコミュニティ代表などを含むプロジェクト関係者が集まり、現場レベルの活動経験を共有するための第1回地域防災フォーラムが、2010年2月にコスタリカで開催された。これまでは、国家防災機関の職員など中央レベルのプロジェクト関係者が集まって経験を共有する機会は多かったが、自治体やコミュニティレベルの関係者が多数集まる機会は始めてであり、参加者は他国の取り組みから多くを学び、また刺激を受けた。同フォーラムはプロジェクトの残り期間も毎年開催される予定である。</p>	<p>5-2 CEPREDEMAC調整事務局及び各国防災関連機関が主導して、自治体レベルの防災担当者を含む実務者間のコミュニティ防災に関する知識や教訓の交換・共有のために中米地域防災会議を開催する。</p>
<p>5-3</p>	<p>年に一回、合同調整委員会の会議において、各国の国家防災機関の代表者に対して、プロジェクトの成果を説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同調整委員会(JCC)会議は、以下の通り毎年開催されてきている。 <ul style="list-style-type: none"> - 2008年2月、エルサルバドル - 2009年3月、グアテマラ ・ 各JCC会議において、プロジェクトの進捗状況が報告された。 	<p>5-3 年に一回、合同調整委員会の会議において、各国の国家防災機関の代表者に対して、プロジェクトの成果を説明する。</p>
<p>5-4</p>	<p>プロジェクト対象地域内で、防災への先進的な取</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間評価以降、JCC会議は次のとおり開催されている。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2010年3月にエルサルバドルで実施。 2) 2011年3月9～10日にメキシコ・チャパス州にて実施し、2011～2012年の活動計画を協議し、確定した。 ・ 2012年2月13～14日、コスタリカにおいて開催予定。 ・ 優良事例パンフレットは作成中。 	<p>5-4 プロジェクト対象地域内で、防災への先進的な取</p>

<p>組みを行うモデル自治体 ／コミュニティにおける 防災の優良事例を集めた パンフレットを作成し、 各国の自治体の防災関係 者に配布する。</p>	<p>5-5 OEPREDENAC 及び各国防災 関連機関は、活動 2-1 で 開発した防災普及のため の手法、ツール、技術を、 サンプルとしてパイロッ ト・サイト近隣の自治体 及びコミュニティに普及 する。</p>	<p>中間レビュー時点では未実施。プロジェクトの残り 期間において実施予定である。</p>	<p>(グアテマラ) <ul style="list-style-type: none"> 2011年5月にグアテマラでカエルキヤラバン地域ワークショップを実施し、それを受け て、パナマを除く各国でカエルキヤラバンが開催された。(活動 2-2) エルサルバドルで作成された防災ダック教材(紙芝居)の中米版を作成中である。(活 動 2-1) グアテマラで作成されたカエルキヤラバン・マニユアルの中米版を作成中である。(活 動 2-1) <p>(コスタリカ、ホンジュラス) <ul style="list-style-type: none"> 古タイヤ試験堤防及び土留め工事のマニユアルを OEPREDENAC を通じて、各国防災機関に 配布するとともに、エルサルバドルの関係省庁、大学、ドナー、NGO、プロジェクト対象 自治体に配布した。(活動 2-1、2-2) <p>(コスタリカ) <ul style="list-style-type: none"> コスタリカのコパノ市で開発している学校防災手法の普及展開の対象として、カリージ ヨ市の学校で同様の活動を行った。(活動 2-3) コパノ市の経験：防災学校のネットワークが、学校における防災活動と教訓について、 教育者のためのガイドを作成中である。 <p>(ホンジュラス) <ul style="list-style-type: none"> ホンジュラスのチヨルテカ県で降水量観測網の整備を主とした SAT を普及している。 <p>(エルサルバドル) <ul style="list-style-type: none"> 中米各国での防災プロジェクトの活動における優良事例のビデオを作成中である。 </p></p></p></p></p>
--	--	---	---